



企業誘致や産業集積に 将来像と戦略を！

高橋 浩輔（みらい）



問／企業誘致や産業集積の形成を進めていく上で、当市の優位性や課題をどう捉えているか。

答／広域高速交通網の結節点で、港や鉄道貨物駅等のインフラを有し物流の拠点性に優れている。土地価格や恵まれた生活環境も相まって更に優位性を高めている。反面、人手不足への対応や工業用地の不足が課題として生じている。

問／課題への対応は。

答／人材確保の新たな手立てとして妙高市と共に事業を立ち上げ、今秋より人材マッチングサイトの運用を開始する予定。工業用地の不足に対しては、大潟工業団地の整備に着手している。加えて今年度、新たな工業用地の確保に向けた基本計画の策定にも着手をしている。

問／製造業の国内回帰が進行し設備投資額が伸びている。また、物流の在り方をはじめ、産業を取り巻く状況が大きく変化をしてきている。これに呼応する形で市も新たな産業用地確保に向けて動き出すなど、一歩前へ出る節目を迎えている。この時だからこそ明確な将来像を描き、他自治体の先例のように「企業誘致戦略」を個別に策定し、それに基づいて戦略的に企業誘致や産業集積の形成を進めていくべきではないか。

答／当市の製造業の集積は日本に誇れるものであり、市民生活に必要な産業の維持も重要。まずは現在ある方針や計画に基づいて進めていく。



上杉謙信公の遺徳が 伝わる春日山開発を！

牧井 邦生（みらい）



問／市長の考える、上杉謙信公の遺徳や春日山城の美しさとは何か。責任者の思いを聞きたい。

答／謙信公に思う遺徳とは、生涯を通じて義を重んじ、世にとつて正しい行いを貫こうとした崇高な姿勢である。私利私欲でなく、人のための戦いを続けた利他的な精神は私も大切にしたい。春日山城には、元々の山の地形を生かし、空堀や土塁を組み合わせて合理的に作られた機能美を感じており、山容そのものが美しい。

問／春日山開発予算、36億円は20年前の高田・直江津再開発を越える額。春日山の風景を一変できる額であり、それを踏まえた計画策定と市民の機運醸成を図ってほしい。また、開発に正解はないが、最後まで成し遂げることで推進者への信頼が育まれ、地域の資源として残り、地元を豊かにすると専門家から聞いている。事業を成し遂げる覚悟をもっと発信してほしい。

市民の87%が重要と考える公共交通

問／市長が重点を置いて取り組む事業は何か。

答／中山間地の高齢者向けに予約型コミュニティバスの導入、その運行地域の拡大を進め、運転手確保に苦しむ事業者支援に取り組んでいる。

問／都市計画で、車のない人が排除されているのでは。人口大幅減でも公共交通予算を倍にする町もある。ふるさと納税を全額充ててほしい。



障害者支援の充実を！

西沢 智子（公明党）



問／障害者手帳等の保有者に支給されるタクシー券が足りないとの声があるが、追加交付を考えるはないか。

答／年間2万4千円分支給しているが、令和4年度は58・4%の方が利用券を使い切らなかった。物価高騰もあり、要件も合わせ検討したい。

問／就職を希望している障害者全員が就職できるように、どのような取り組みを行っているか。

答／「障がい者就業・生活支援センターさくら」にジョブサポーターを配置し、受け入れ企業の開拓などを行っている。関係機関と連携し個々のケースに寄り添った支援を行っていく。

HPVワクチンキャッチアップの取り組み

問／HPVワクチンのキャッチアップ接種率は。

答／令和5年度末で18・7%。

問／不安を払拭する情報発信はできているのか。未接種者に対して個別通知でお知らせをする時期だと思うが。

答／安全性・有効性の周知を図り、8月上旬を目途に、未接種者と1回接種者に向け案内を送付する。

問／男性のHPVワクチン定期接種に助成する考えはあるのか。

答／国の動向を注視することとしており、現時点では考えていない。